

働く女性のワーキングスタイル発見マガジン

Actaleia

www.actaleia.com

September 2010

Vol.16

アクタレイア

無料

夢は 縁側 カフェ

Working X Woman / 大庭 知子



四人姉妹の末っ子

大庭知子さんの自宅は宮城県白石市でキュウリを中心に野菜を生産している専業農家、大庭さんのお父さんと10代目と長い歴史のあるお家です。四人姉妹の末っ子として育った知子さん、農業に就いて3年目。もともとキュウリを食べるのはあまり好きではなく、農業高校に進学したものの興味があつたのは畜産、卒業後は、海外に行く人のお手伝いがしたいと外国語の専門学校に進学。そのまま外国語教育の企業などに勤務してマーケティングや営業の仕事に携わり、知子さんはキュウリや農家とは縁遠いところにいました。

「姉が家の農業の手伝いをしていたので、自分は何か好きな仕事をやるうと思っていました。出張や外まわり営業も多かったけれどとてもやりがいのある仕事に就いていたのですが、途中で体調を崩してしまいます。「実家にいるときには野菜を中心にちゃんと食事をしていましたし、学生のときにはバランスの考えられた食事のできる寮に入っていました。一人暮らしの社会人になってから、食生活が不規則になり、食べなかつたりコンビニ弁当が多くなったり、身体の中にストレスもかなり溜まっていたようです」。大庭さんは退職して白石に戻り、病院に通うことになりました。

嫌いなキュウリを好きになった瞬間

ある日、通院していたお医者さんに「家でつくっているキュウリです、先生食べてください」と手土産に持っていったら叱られて返されたそうです。キュウリは水分を非常に多く含み、ビタミンC・ビタミンB・カリウムなどの栄養が摂れる野菜です。中でもカリウムは、不足すると食べ物から摂取されるナトリウムが過剰となり、様々な症状を引き起こすもの。「大庭さんの家はキュウリの生産農家、売るほどあるのだからまずあなたが食べて体調を戻さないかと返されて、キュウリがそんなにすごいものかとビックリしました」。それまで大庭さんは、単にキュウリはひとつの生産物と思っていました。キュウリは成長が早くて、その日の気温や日照時間によって成長度合いが変化するも

Working X Woman / 大庭 知子

夢は縁側カフェ

初めて会ったのは、蔵王を巡るミニツアーのバスの中。

「大庭知子です！ 白石でキュウリをつくっています！」

面食らうような明るく大きな声での挨拶。とにかく元気で明るい方です。

事前に配布されたチラシには「キュウリの生産者」として紹介されていたけれど、掲載されている写真とはずいぶん印象が違うなあと感じたのでした。

大庭さんの自宅とキュウリ畑を訪問し、

その農業に対する想いや地元を愛する心に触れ、

ぜひ、読者の皆さんにも紹介をしたいと思いますとお話を伺ってきました。



profile

1986年、宮城県白石市出身。10代続く農家の四人姉妹の末っ子として生まれる。農業高校に進むも卒業後、外国語関連の専門学校に進学、卒業後は一般企業でマーケティングや営業を担当する。体調不良をきっかけに白石に戻り、農業を見つめ直す。実家の農業を継ぐ覚悟を決めて3年、農業に地元の活動に忙しい毎日。

ブログ⇒ キュウリ歩人のかっぱ巻き
～ HARD → HEART ～
<http://ameblo.jp/delsoul1208/>

いつかは「縁側カフェ」を

大庭さんは、白石の生産農家さんたちや白石・蔵王の仲間たちと、様々な勉強会や地域づくり活動をしています。「いつも、オマエはまだ甘い！」と皆さんに叱られます」と笑う大庭さん、その笑顔の下には、まわりの皆さんからのアドバイスを真剣に受け止めてじっくり考えている表情が見てとれます。11代目を継ぐ決心がそうさせているのでしょうか。

これからの目標は？と伺うと、「いつか自分の家でカフェのようなことができればいいなあと考えています。誰かがやってきて、縁側とか座敷でお茶を飲んで漬物をつまんで、話をして笑って時間が過ぎるようなところ。漬物はもちろんキュウリですよ！」大庭さんの元気が詰まったキュウリと、明るい笑顔の見えるカフェができたなら、仙台で働く女性たちのたまり場になるかもしれませんね。

の。両親は日々キュウリの生育を確認しながら出荷を
しています。大庭さんが「もともとあまりキュウリを
好きではない」理由が実はこのこと。「小さい頃から、
私よりもキュウリが優先でしたから」と笑う大庭さん。
「運動会するときなど最初は見に来ていても、キュウリ
の生育が早くて、今日のうちに出荷しないといけない
“ということになれば、両親は途中で帰ってしまいま
す。一人で寂しくお弁当を食べた思い出もあって、キ
ュウリは嫌いだったのです」。しかし、人の健康を司る
大切な食物だと理解をしてから、キュウリに対する見
方やそのキュウリを生産している両親に対する見方が
変わったそうです。

仕事を継ぐ決心

実家に戻って少しずつ農業を手伝い始めると、いろ
いろなことがわかってきました。白石でおいしいキュ
ウリがつかれる理由、近くを流れる川は蛭しじみが成育する
ほど美しい、キュウリと“もろぎゅうり”の違い、など
。 「なんて農業はオモシロイんだろう、奥が深いん
だろう！」とワクワクしました。そんな農業に本気で
携わっている両親はなんてスゴイんだ！と。そして、
それまで農業を手伝っていた姉が仕事を離れることに
なったこともあり、本気で家の農業を継ごうと決めた
のです。

そうは言っても、農業では新人。「朝から夜までと
にかくハードな仕事です。朝は6時から畑に立ち、
収穫の間は3時間くらい立ちっぱなし。
ハードな仕事ですがお客様のハートに届くものをつ
くりたい、HARD→HEARTをいつも頭において仕事を
しています」。



Message

for Working × Woman

畑でトラクターに乗って遊ぶ子供の姿、
軽トラの荷台で祖父母の仕事上がりを待
つ子供の姿…昔は普通だった風景が少な
くなりましたが、大庭ちゃんちの近くだ
と普通だね、と言われるくらい農業を身
近な存在にしたいです。仙台と白石、読
者の皆さんとも何かお互いに情報のかけ
橋になれるといいですね。

(仮想) 縁側カフェ

